

(別添7)

事業所名 グループホーム すばる竹田園

2 目標達成計画

作成日: 令和3年3月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・重度化について関連書類の整備ができていない。	・重度化や終末期における関連書類の整備を行う。	・重度化や終末期における関連書類の整備を行う。	2ヶ月
			・終末期における様々なニーズに対応できるように事業所全体のスキルアップに努めていく。	・面会時等に定期的に家族の意向も確認できるように努める。 ・終末期ケアについて事業所内の研修を行い職員個々の理解を深め、事業所全体の対応力向上に努める。	12ヶ月
2	2、3、5	・事業所の活動を知ってもらう機会が不足していた。	・事業所を知ってもらう活動を行い、地域と連携がとれるようにする。	・定期的に広報誌の作成をし、自治会への回覧と家族、市等への配布を行い、活動内容や事業所のことを知ってもらう。	3ヶ月
3	13	・個々の目標、介助方法などを職員全員が共有できておらず、チームとして発展途上。	・やりがいを感じ、向上心を持ってグループではなく、チームとして利用者を支えることができるようにする。	・管理者、ケアマネ、リーダー、全職員で多くのコミュニケーションを取り情報を共有し、チームとしてより良い施設を目指していく。 ・事業所内研修の内容をより実践的なものにし、外部研修への参加も積極的に行い、正しい知識を習得し、職員個々のスキルアップも図りながら、サービスの向上に努める。	12ヶ月
4	35	・消防署立ち合いの避難訓練を実施できていなかった。	・非常災害時に利用者の安全を確保できるように訓練を継続し、避難方法を全職員で共有できるようにする。	・年1回消防署立ち合いの避難訓練の実施。 ・避難訓練の継続。 ・非常災害時の連絡体制の共有。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。